

うやうやしく亜墨利加合衆国の

(恭しく)

大統領のみもとにまをす、さきに

(御許に申す)

下田奉行信濃守源(井上) 清直、目付

肥後守藤原(岩瀬) 忠震等におほせて、

(仰せて)

そのくにの欽差全権巴兒リスとはかり、

(欽差全権ニ全権大使 巴兒リスニハリス)

むつひのりをさためて、ものうり

(睦びの則を定めて、物売り)

かふへきちきりのしるしふミをあたへ

(換うべき契りの印文《通商条約》を与え)

江戸のつかさにゆきかひせしむ、いままた

(江戸の司ニ老中等に行き交いニ条約調印)

ことに奉行豊前守源(新見) 正興、淡路守

(殊に)

源(村垣) 範正、目付豊後守源(小栗) 忠順等に

ちきりのしるしふミをもたしめて

(契りの印文《批准書》を持たしめて)

華盛頓のつかさにいたらしむ

(華盛頓の司にリアメリカ大統領)

このときハめていたりふかく、こころいと

(極めて)

ねもころなりかれ、このちふたくにの

(懇ろなり 二国の)

したしみもいよよあつくましらひそ

(親しみも愈篤く増しましう)

世々にかはらさるへし、いまこのつかひ

(世々ニ永久に変わらざるべし 今此の使)

みたりのおミは、さらに忽らひまうけたる

(三人の臣は、更に選びに設けたる)

ものにしあれば、ともにまこゝろをのへて

(共に真心を述べて)

ことはかられよかしすへてしたしミを

(こと図られ嘉かし、すべて親しみを)

あつくし、またそのくにたひらけく

(篤くし、その国 平らけく)

やすけからむことをおもうにこそ

(泰けからん 思う)

安政七年正月十六日

源家茂(朱印)